

2010 年度問題演習

教科書検定が憲法に違反するか否かに関する次の各記述について、最高裁判所の判例の趣旨に照らして、正しいものには 、誤っているものには を付しなさい。

- 問1 教科書検定が憲法第 2 1 条第 2 項に違反しないとされるのは、審査が、教科書の誤記や誤植などの客観的に明らかな誤りがあるか、教科書の内容が教育課程の大綱的基準の枠内にあるかなどの点に限定され、かつ、執筆者の思想の内容にわたらない場合に限られる。
- 問2 教科書検定が教科書執筆者の表現行為を制限することになるとしても、教育の中立・公正、一定水準の確保等の要請にかんがみれば、検定による表現の自由の制約は合理的で必要やむを得ない限度のものであるから、憲法第 2 1 条第 1 項に違反しない。
- 問3 教科書検定は、検定で不合格とされた図書を一般図書として「思想の自由市場」に流通させることを何ら妨げるものではなく、発表禁止目的や発表前の審査等の特質がないから、憲法第 2 1 条第 2 項の「検閲」には当たらない。

----- キリトリ -----

演習	学籍番号		解答	問 1	問 2	問 3
	氏 名					